



12月の園だより



令和4年12月1日
目黒区立中町保育園園長

秋が深まり、園庭の桜の葉が黄色や赤に色づいています。子どもたちは、落ち葉を拾って砂場でままごと遊びの具材にしたり、部屋に持ち帰って落ち葉を使った制作活動を行ったり、身近にある自然に触れて遊べる喜びを感じています。ある日のこと、葉が舞い落ちていくのを見ていた子どもが「重かったのかな」とつぶやいている姿に思わず微笑んでしまいました。

さて、各クラス順次保育参観を行っています。0・1・2歳児クラスでは、普段の子どもの様子を見ていただきたいため、子どもに分からないようにエプロン等を身につけ参加してもらっています。保育参観後の面談は、感想やご家庭での様子を伺うことができ、共に子育てをしている保育園にとっても子どもの成長を一緒に確認できる貴重なひと時です。給食の試食でいただいた感想も含め今後の保育にいかしていきたいと思えます。今月から、クラス懇談会を予定しています。子育ての喜びや困っていること等を共有できる場にしたしたいと思いますので、ぜひご参加ください。

日に日に寒さが増し、体調を崩しやすい時期になりますので、手洗いやうがいを励行し体調管理に気をつけていきたいと思えます。新年も子どもたちが元気に“今日もたくさん遊んで楽しかった”と思える活動や体験を行っていきます。今年も様々なご協力をいただきありがとうございました。

行事予定

なかよし劇場（3・4・5歳児）

身体計測

避難訓練

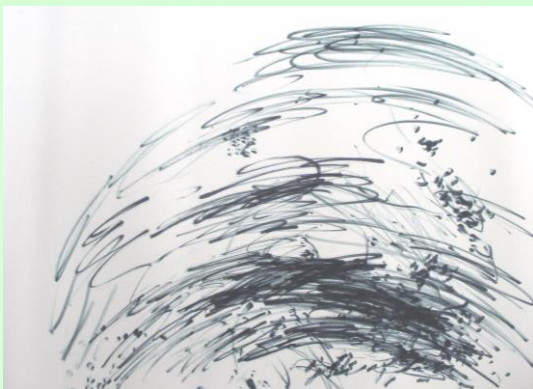


懇談会予定

- | | |
|-----|--------------|
| 12月 | おひさま組(5歳児) |
| 1月 | もも組(0歳児) |
| 2月 | ちゅうりっぷ組(2歳児) |
| | ほし組(3歳児) |
| | つき組(4歳児) |
| | たんぽぽ組(1歳児) |

描画活動

子どもたちの描く絵は「伝えたい話や言葉」と捉え、保育士との対話を大切にしながら豊かにのびのびと表現できる描画活動を大切にしています。今月はたんぽぽ組（1歳児）の絵です。子どもたちは自分の描いた絵に人や物の名前をつけるようになっていきます。ぐるぐる丸や線で表現しながら、イメージの世界で保育士と対話することを楽しんでいます。



手を横に大きく動かし、線や点が描けると「おおーっ」と喜び、紙一杯に力強く描きました。線を指さしながら「ぶーん」と話し、保育士が「ぶーんと車が通っているのかな」と返すと嬉しそうに微笑んでいました。



皆既月食を見た後、紙の真ん中にぐるぐる丸を描き、「おつきさま」と話していました。「きれいなお月さまだね」と答えると、外を指さし「ここにいたママと見た」と一緒に見たことを伝えてくれました。またきれいなお月さまを見れるといいね。

《なかよし劇場の取り組みの様子》

ほし組（3歳児）

『初めての劇ごっこにワクワク』

棚にチェーンリングなどを並べて「いらっしゃいませ、どれにしますか？」と友達とお店屋さんごっこを楽しんでいます。子どもたちが好きなお店さんのやりとりを題材にした『ねずみさんのおかいもの』ごっこは、「いらっしゃいませって言いたい」や「チョコのパン買いに行くんだ」とやりたい役のイメージを膨らませていました。パン屋、ジュース屋、果物屋に分かれ、それぞれの売り物を作ると「ドーナツおいしそう」「ぶどうジュース作ったよ」「メロンは私が作ったの」と子ども同士で楽しそうに話していました。そして“のねずみ”の曲に合わせ嬉しそうに買い物へ行き、やりとりをする度に期待が高まり「今日は劇の日？」と当日を楽しみにしている子どもたちです。

つき組（4歳児）

『劇作りの面白さ』

なかよし劇場の話をする、すぐに子どもたちからやりたい劇の候補がいくつか挙がりました。絵本やパネルシアターを使って候補の物語を演じて遊ぶ中で、相談の末『こびとのくつや』に決められました。演じたい役がそれぞれ決まると、次はセリフを考えることにしました。担任が絵本を読みながら「ここで何て言いたい？」と聞くと「キラキラの靴を作ろう」「この靴履いたら飛んでいっちゃいそう」など、大人では考えつかないような発想のセリフが出てきました。迷っている友達がいると、「〇〇ってというのはどう？」とアイデアが出て「そうする、それがいい」と喜んでいる姿もあり、友達同士で協力する姿も徐々に見られるようになりました。劇中の動きも子どもから「スキップしようよ」と出るなど、楽しみながら取り組んでいます。劇のポイントとなる靴も一人ひとりの自由な発想が形となり、劇作りを楽しんでいる子どもたちです。



おひさま組（5歳児）

『友達とつくりあげる楽しさを感じながら』

題材は子どもたちと話し合い『どろぼうがっこう』に決められました。練習では、互いの演じる姿を見合い「もっとこうの方が面白いよ」と、どのようにしたらその役を表現できるか考え合っています。また、演じるだけでなく同じ役の友達に声をかけ、本を見ながら自分たちが使う小道具を見つけ、何を作りたいか、何の素材を使いたいかが相談し、自分たちで色も決め絵の具を準備して塗っています。夜の背景を描いていないことに数人の子が気がつく、友達と本を見ながら「上の方はこの色がいいよ、真ん中は色が違うね」と絵の具の色を混ぜ合わせ紙に塗り、色具合を見て満足しています。セリフを覚えてくると役になりきって演じる面白さを感じている子どもたちです。なかよし劇場に向けて友達と協力しお互いを認め合いながら意欲的に取り組んでいます。

